

まちの話だい

8/8 山田町 からようこそ

東日本大震災の被災地である岩手県山田町^{やまだまち}から、野球スポーツ少年団の子どもたちが島田市を訪れ、市内の少年団チームと交流試合を楽しみました。

この交流は、島田市体育協会が、被災地で自由に屋外活動が出来ない子どもたちに、少しでもスポーツの機会を提供したいと企画し実現。山田町野球スポーツ少年団の選手ら26人は、8月6日から11日まで滞在し、交流試合や大井川鐵道SL乗車^{てつどう}など、島田で夏休みの思い出をたくさん作りました。



写真：①市長表敬訪問 ②島田球場にて山田町少年団チーム(左)と島田市少年団チーム(右)が対戦 ③④⑤⑥⑦同島田球場にて ⑧新金谷駅にてSLと記念撮影



8/6 七夕に華やぐ

6日と7日の2日間、JR島田駅前と本通りを会場に、夏の風物詩「島田夏まつり」が開催されました。

本通り沿いに華やかな七夕飾りが飾られる中、市内幼稚園などの団体による、マーチングバンド、パレード、舞踊やダンスパフォーマンスなどが披露され、訪れた市民らから大きな声援が送られました。

7/30 氷見の海で生まれた友情

島田市、富山県氷見市、長野県大町市。姉妹都市としてスポーツ少年団の交流を続けている3市の団員が、氷見市を会場にした交流会に参加しました。島田市からは24人が参加し、地引き網・魚釣り・海水浴などを通して他市の団員と楽しく交流する中、新たな仲間づくりができました。

小野澤宏時さん(島田市出身) ラグビーワールドカップ 日本代表



第7回ラグビーワールドカップが、9月9日からニュージーランドで開催されます。日本代表として、金谷根岸町出身のおのざわひろとき小野澤宏時さん(サントリーサンゴリアス所属・33歳)が出場します。

小野澤さんは、父親の影響もあり、金谷小学校のときからラグビーを始めました。

2000年にサントリーに入社してからは、主軸として活躍。ジャパンラグビー トップリーグ 2009-10、2010-11は、2年連続で最多トライゲッターを獲得しています。

ワールドカップへは、3回連続出場。日本代表のキャップ数(代表として国際試合に出場した回数)は64で、日本歴代2位。ポジションはウイング(WTB)、不動のレギュラーとして日本代表を引っ張ります。

「うなぎ走り」と称される独特のステップが持ち味で、2003年ワールドカップの対スコットランド戦では、日本チームで唯一トライを記録しています。

小野澤さんから「生まれ故郷で鍛えられたこの足腰を生かして、ラグビーワールドカップでは勝利を目指し、走り切りたいと思います。皆さん、ご声援よろしくお願いたします」とコメントが寄せられました。



8/15 命の尊さを伝えたい

プラザおおるりで、遺族会やガールスカウト、ほか多くの市民が参加し、平和祈念式典が行われました。

鹿児島県知覧特攻平和会館・語り部の川床剛かわとごたけしさんによる「命の尊さと親子の絆」のメッセージでは、戦争の犠牲になった青年たちの実話を通じ、命の尊さが訴えられました。



8/15 熱かった、野守の一日

川根町家山で、お盆の恒例行事「野守まつり」が開かれ、市内外からの多くの人でにぎわいました。

午前中に行われた「和船漕ぎ大会」では、49チーム98人が参加し、湖上で熱戦を繰り広げました。

夕方からは、盆踊り、灯籠流し、花火大会が行われ、暑い夏の日を彩りました。